

保育所等の再編にかかる第1回保護者説明会議事録 (概 要)

令和8年9月16日作成

会議名称：保育所等の再編にかかる保護者説明会

開催日時：令和8年9月7日（月）18：30～19：30

開催場所：いちご保育園 遊戯室

会議次第： 1 あいさつ

2 保育所等の再編について（説明）

3 質疑応答

1 あいさつ（事務局）

これまで、子育て応援日本一を掲げ他市町村に先駆けて、高校生までの医療費の無償化や、学校の給食費の無償化、そしておうちで子育てなどをはじめとした、少子化対策、子育て支援策に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、コロナ禍を経て、少子化につきましては、その進行に歯止めをかけられず、加えて、保育士、或いは調理師の人員確保もままならない状況にあります。充実した保育サービスの提供を第一に考え、限られた人材、そして財源を生かしながら、持続可能な保育所運営を行っていくことを念頭に置きながら、保育所等のあり方について、今まで検討を進めてまいりました。すべては子どもたちの未来のために、保育士を集約して、より手厚く児童の成長、そして発達を支援する体制を整備していきたいと考えておりますので、ご理解の程、お願いをしたいと思います。町としては苦渋の決断ということで、検討に検討を重ねた結果、皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、町としての方針について、ご理解をいただきたいと思います。

2 保育所の再編について（事務局）

資料に基づき、今後の方針、休所の理由、スケジュール等説明

（事務局）

保育士の確保の状況についてお話をしましたが、今のところ、国の配置基準は満たしています。ただし、満たしているのは、会計年度任用職員という、臨時の職員の方を加えて、配置基準を満たしているということでございます。この会計年度任用職員というのは、1年ごとの契約ですので、次年度以降、そういった会計年度任用職員を確保できるのか。そして、退職をする保育士の代わりの新たな保育士の採用ができるのか。皆さんご存じのように、各民間企業、或いは各自治体においても同じですが、ほとんど人員不足であり、募集をかけても、応募がない、こういうふうな状況が、我が朝日町においても、同様の実態がございます。そういう意味からすると、子どもたちの数が少ない以上に子どもたちを保育する保育士、或いは調理師の確保というものが、本当に危機的な状況に陥っているというふうなことからすれば、何とかこの保育士或いは調理師を集約をして、子どもたちのためのよりよい保育サービスにつなげていきたいと考えています。

今日こういう説明をして、かなり困惑もされるでしょうし、来年の4月までということですので、あまり、十分な期間もないということから、いろいろとご意見があろうかと思えます。当然のことながら、今日は皆さん方から、いろんなご意見を聞かせていただくような対話型の説明会というふうにも考えております。ただ、会議の時間的な制限は当然あろうかと思えます。

ぜひどちらかという、子どもたちのための、よりよい保育の質のサービスを維持するための対応であるという点を踏まえていただいて、ご意見等いただければというふうに思います。

3 質疑応答

区分	意見・質問	回答
質問	泊南部保育園が休所になったときは、年度初めに説明会があったと伺っています。今回はなぜ9月という、半期終わったようなタイミングでの説明会になったのか、理由を教えてください。	このような時期になってしまい、皆様には本当にご迷惑をお掛けしております。遅くなった理由は役場庁内での協議検討を重ねており、この時期になってしまいました。入所申込みを通常より一カ月延長する対応をしていきたいと考えております。皆様のご意見もお聞きして、その他の対応についても検討したいと思っております。
意見	泊南部保育園の話になってしまいますが、年度初めで統合の説明があったので、残りの1年間は、子どもと一緒にたくさんの思い出づくり、いろいろな行事をされたと聞いています。私達には今回そういった機会が与えられないということを、町の方にはちょっと心に置いていただきたい。	
質問	入所申込みは、いちご保育園の児童だけですか、それとも他の保育園の児童も同様か。 子どもが、ここの友達と離れることになると寂しいじゃないかなと思って、なるべく同じところに、他の子と離れず入れていただきたいと思う。人数を見ると今のところ、全員がそのままさくら保育園に転園するのは難しいだろうと思うが、どのような対応を考えているのか教えてください。	入所申込みについては、いちご保育園に通っておられるお子さんも、今新しく保育園に入ろうとするお子さんも一緒に受付をこの時期にしようと思っています。 もちろん今通っているところから転園をされたいという方がおられるかもしれませんが、12月に現況届の提出があるので、その届出といちご保育園の児童の皆様から受付を行おうと考えております。
意見	なぜ、いちご保育園なのか理解ができない。 充足率はそんなに大差ないと思う。 朝日町は保小中一貫と言っているのに、あさひ野小学校の隣の保育園が休所となる。 今、保育所で、手厚くしていただいととても感謝している。しかしながら、このような大事なことを1週間前に会議の連絡があり、いきなり休所の話をされても、今の生活、今後の生活のこともある。	まずは皆さんに対し、困惑させているので申し訳なく思っています。なぜ、いちご保育園なのかについては、資料の通りですが、泊地区の方から、何人かさくら保育園に来ておられまして、いちご保育園よりもさくら保育園の方が他の地区から入所している特徴があります。当該地区内の児童数が、年々減少しているということも鑑みていちご保育園を休所とする方針を決定したところです。 保小中一貫教育も、町の方針として取組んでおりますが、それは、いちご保育園とあさひ野小学校をセットで考えているのではなくて、朝日町全体として、保育所と小学校、小学校と中学校、その境目のギャップが、解消されるように、保育所

		と、小学校の先生方と情報交換をしていただいているところです。保小中一貫教育は町全体として動いているというふうにご理解いただきたいと思います。 出生数を見ますと、いずれは1園になる人数だと考えております。なぜ最初の休所がいちご保育園なのかということですが、どこか1つの選択が必要であったことから、検討に検討を重ねて、こういう結論になったということで、説明させていただきました。 なぜこの時期にというふうな先ほど質問もありましたが、一番悩んだのはその点であります。どこの保育園を休所させるべきか、果たして、いちご保育園なのかさくら保育園なのか。議論に、議論を重ね、こういう時期になってしまったっていうのは、大変申し訳ないと考えております。 いちご保育園の敷地・延床面積がともに広くて、年間の維持経費というもので見てみた時に、他の保育所よりかなり経費がかかっているということがあります。さくら保育園より建設時期は早いですし、施設を今後、維持をしていくときに、どのような投資が必要になってくるのか、このようなところも、検討の1つでありました。経費削減的な見方も含め総合的に判断しました。
質問	交通面、安全面で考えると、正直、さくら保育園もひまわり保育園も危険だと思う。交通量が多いし、駐車場も狭い。冬になると、さくら保育園は、除雪が間に合っていないので、送迎の方たちがとても不便だと思う。ひまわりも同様である。また、ひまわり保育園の先生方の駐車は、裏の方に停めなきゃいけない。子どもたちのことだけでなく、職員の方のこともしっかり踏まえて検討されているのか。いちご保育園は、駐車場が広いので、安全に子どもたちを送り届けることができる。そういったことをしっかり踏まえているのか。ただ、いちご保育園は子どもが少ないからという理由だけでなく、交通の安全面、大雪があったときにどう対処するのか。あと、海拔の問題、万が一津波が来たときに、大丈夫	保育所を休所して、どういうふうに人を集約させるかという点については、いろんな角度で検討いたしました。例えば、ひまわりに集約をすれば、保育士の駐車場不足。近隣に保健センターがあり、その保健センターの施設をどうするという議論は、以前から進めておりました。保健センターを、解体をして、駐車場・児童館スペースにできないかという案は既に挙がっております。現先ほど説明したように、いずれは、1つの保育園での対応ということも、将来的なロードマップとして考えていく必要があります。 段階的な措置の仕方としては、今はいちご保育園を休所して、いずれはひまわり保育園一箇所、もしくは、中学校あたりに、新たな保育園という

	なのか。そういったことをすべて踏まえての判断なのか。そもそもなぜ来年なのか。それが一番疑問である。もう少し猶予を持ってもいいのではないか。	ことも、構想として、考えていくことになるかもしれません。当然のことながら、小学校の再編についても検討段階に入っております。そういう意味からすると、いずれ保育園、小学校、中学校合わせて1箇所ということも考えられます。今、皆様方には非常にご迷惑をおかけしますが、さくら保育園とひまわり保育園の入所児童数、それと保育士の駐車場の問題を含めて、どういう対応が必要なのか、当然これから考えていくことになります。財源的な状況も併せて、今ある施設を有効活用しながら、持続可能性を追求していくことを踏まえながらの再編計画となるかと思います。
質問	いちごをなくして解体するのか。それも費用がかかると思う。解体するにも費用がかかる。そもそも保育所全体で、どれぐらい経費がかかっているのか、数字を知りたい。あと職員が増えたから保健センターを解体して駐車場作る、それも無駄な支出ではないのか。いちご保育園を存続することで、費用はかからないと思う。もう少し時間をおいて欲しい。解体に税金使われるのでは、皆さんが納得しないと思う。	ひまわり保育園の近隣にある保健センターを解体するというのは、公共施設のあり方検討の将来構想の中にあります。 いちご保育園を、廃所ではなくて、休所という今回の方針に至りました。なぜ休所かという、景観や自然豊かなこの土地柄ということからすればひまわり保育園、さくら保育園からのいちご保育園の園庭での活動利用なども可能性としてあるかもしれません。すぐに解体ということまでは考えていないということです。このような再編によって、このいちご保育園の活用方法について、地区での利活用がでてくるかもしれません。十分この保育園の活用方法も並行して、考えていく必要があると思っております。今の段階では、あくまで休所という扱いで対応していきたいと考えているということです。
質問	ひまわりの定員が160名。令和7年の、子どもの総人数が155名。これ、全部の保育所で155名ことですよね。いきなり1つの園への統合ということは考えられないのか。	ご意見いただいたとおりで、町では、検討の中では、将来的な推計をもとにすれば、1保育園ということも、議論はしておりました。ただし、そこまでの、極端な、縮小ということについては、余りにもちょっと厳しすぎるのではないかとということ、町のロードマップ、プランからすると、段階的に縮小すべきだということで、3つを2つにという選択に至ったということであります。全保育所の問題として皆さんの意見が、1ヶ所とするニーズがあるならば、そういった意見も検討に

		入れていく必要があるかもしれません。
意見	経費削減などを考えたら、1 園に統合するという考えも検討して欲しい。これから人口が増えるとか、税収が増えるとかってことは多分見込まれないと思うので、よりコンパクトにして、経費を削減していくのを早期にやる考えもある。将来的に 1 園、1 小学校になるのであれば、むしろそっちの方がいいと思う。例えば、いちご保育園は、小学校に進級して、何か活動するって言うても人数的に困難となるということも想定できる。そうであれば、早期にコンパクトにする必要があるのではないかな。小学校も保育所も早期に 1 つの保育所、1 つの小学校という方向で、進めた方がよいのではないかな。	当然のことながら、いろんな角度でいろんな方々の意見があろうかと思います。そういった意見もあったということで受けとめさせていただきます。全国的な少子化傾向の中、いわゆるその人口減少に対応した施設の持ち方については、賢く縮む「スマートシュリンク」という考えも含め、今後は、保育所に限らず、いろんな方面の施設配置計画というものを検討する必要があると考えています。そういったご意見は、町で共有したいと考えています。
意見	自分は移住者で、そこまでの思いとか、子どもも今年度で卒園のため、影響というのは少ない。自分自身は、東日本大震災を経験しており、そういう観点で災害の時、子どもはどこいるんだろうなって真っ先に考えた時に、津波ならなるべく高いところに行って欲しい。海側に向かって迎えに行くというのも現実的ではないと考える。保育園と小学校が隣にあるので、残すべきなのはこの保育園ではないか。経費の話をして、駐車場のために、保健センターを潰すだとか、中学校作るだとか、それはかなり経費もかかると思う。なぜ急にこの方針を提案されたのか、経緯がないとわからない。エアコンもつけたばかりだ。	最初に収容人数の説明をしておりますが、いちご保育園は 120 名で、いちご保育園が建つ前は、南保、山崎、大家庄の各地区で保育所がありました。少子化や老朽化の理由で、児童を集約していちご保育園が誕生しました。そのとき開設したときは 117 名でした。いちご保育園の広い環境が、魅力だということは認識しております。子どもたちの人数が少なくなると当然、対応する保育士の数も少なくなると見込まれます。そうすると、少ない人数の保育士で見ると目が行き届かなくことも危惧され、そういった観点からも今回の判断に至っております。また、エアコンについては、こちらと、ひまわり保育園が昨年の暑さ指数などを踏まえ、緊急的に必要だと判断し設置しました。 東日本大震災も経験されていて、津波のこともご心配だとは思いますが、ハザードマップでは、浸水地域は 50 センチ未満ということも確認はしております。太平洋と違って日本海の規模からすると、東北とはまた状況が違うのではないかと考えております。 また、いろんな災害などの対策は、今までも立てておりますけども、また重ねて考えていきたいと

		思います。
質問	ハザードマップを信用しすぎてはいけない。災害があったときに子どもの他に避難する人もいて、さくら保育園でその人数を受け入れることができるのか。	さくら保育園の場合は、隣に彩の里という地区のセンターがありますので、避難所として、皆対応することも可能というふうに考えております。
要望	今説明を聞いたばかりで、質疑応答と言われても、正直混乱している。 質問の受け付けフォームなどを用意してほしい。	本日、都合で出席ができなかった方、このお話を持ち帰っていただいて、家庭でお話をしていただく必要もあるかと思しますので、新たなご意見も拾い上げたいと思っております。取りまとめ方についてまた父母の会ともご相談したいと思っておりますので、意見集約の一つの方法として検討します。
要望	いちご保育園の保護者だけではなく、町全体で考えるべきだと思う。必ず町のホームページなどで、今回出た意見や、それに対する役場の回答を公開してほしい。	議員各位に事前に説明をした上で、保護者説明会を開催しております。9月の議会が明日から開催をされますが、町長から、この保育所の再編についての提案理由説明で、休所の発言があらうかと思います。その発言を受けて、議会で質問もあるかと思います。ご意見にあったように、町の考え方とか、いろんな意見の公表については、担当課の方で検討したいと考えております。
意見	この非常に特色あるいちご保育園をなくすことで、私が考えていた育児ができなくなったと正直感じている。朝日町の魅力がなくなったと感じている。非常に残念である。	
意見	今、子どもは2歳児クラスである。ここで、他の保育園に移るのは、しかたのない事かなという気持ちもある。今後1つになるならば小学校が上がる前にもう一度保育園を移る可能性が出てくると思う。それだけは、絶対避けて欲しいと考えている。最初から1園にしてしまうことも検討すべきではと思う。そのためには、今年度中に1つにするのではなくて、2、3年後に、ひまわり保育園を1つにすることが、子どもにとって何度も環境が変わる状況を最小限にできると思う。	これもご意見として伺います。

質問	これは決定なのか。例えば意見を聞いたら少し延長となる可能性があるのか、またはそういったことの余地もないということなのか。	町の方針ということで決定をしているというものです。ただし、当然のことながらこれから、決定に向けて進む上で、町として気づいていない点だとか、或いは、漏れなど、準備を進めていく上で、不足している事項があるならば、保護者の方々からの意見をしっかり聞いて、準備を進める必要があるものと考えます。先ほどから様々な意見を、聞きましたし、議事録として共有していきたいと考えております。そこで、判断の見直しについては、この場でしっかり、ある、ないということとは言えません。ただし、今ほど、いただいたご意見はそのままストレートに庁内にて共有します。この場だけではなくて、ご家族の方とこの件についても話をしていただければ、また違う角度のご意見もあろうかと思えます。そこについては、父母会の会長とも相談をしながら、皆さん方から意見の出せるような機会を、次なる機会も設けていかなければならないと考えております。総じて今日は私どもとしても、苦渋の決断をしたことをお伝えをして、皆さん方からの意見については、私どもが今まで検討してきた中での意見とほぼ類似したような意見があったというふうに思っております。様々な角度で議論をしながら、本日を迎えているということです。ご指摘のとおり、かなり残された期間が短いということについては、まさにその通りであろうというふうに思っております。いただいた意見は、繰り返しになりますが、町として受け止め共有していきたいと考えております。皆様方に寄り添って対応してまいりたいと考えております。
-----------	---	---